



3面に記事



第 739 号

発行人●豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村

(9月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,295人
女 3,310人
総人口 6,605人
世帯数 2,228戸



第三十四回二十四時間ソフトボール大会が八月二十七日・二十八日の二日間、村民グラウンドで行われ、村内の三十二チームと招待チーム二チームの三十四チームが出場し、十八時間にわたる熱戦を繰り広げました。

24時間ソフトボール大会

大会副実行委員長 武田 徹

8月27日～28日

八月二十七日の午後三時から会場準備を始め、午後四時四十五分からの開会式では、実行委員長より「感染防止に注意し、楽しくケガの無いようプレイを」とのあいさつがあり、前回勝利チームの「あかまつチーム」農業委員会代表者から

チーム募集を始めた当初は、なかなか参加申し込みが少なく、予定したチーム数が集まるのか不安でしたが、最終的には三十二チームにエントリーしていただき、二十四時間にはなりません、大会を開催することとなりました。



招待試合の二試合目は「48オールスターズ」対「S

チーム募集を始めた当初は、なかなか参加申し込みが少なく、予定したチーム数が集まるのか不安でしたが、最終的には三十二チームにエントリーしていただき、二十四時間にはなりません、大会を開催することとなりました。

大会は三試合に一回グラウンド整備と消毒等の休憩時間を挟み順調に消化していきました。天気予報では夜中から朝方にかけて降雨の予報もありましたが、支障なく順調に進み、二十八日の日曜日、朝方は風もあり肌寒い感じのする中、十四試合目まで消化しました。

この時点で「こぶし」「あかまつ」チームとも同点となり、ここ数年まれに見る大接戦の大会でした。

大会は総インニング七十一回、「あかまつ」百二十七点対「こぶし」百二十一点であかまつの勝利となり、ホームラン五十一本が飛び交う大会となりました。また、最多得点チームは「八日会」の二十八点で、一位から三位までのチームに賞品が送られました。

大会は総インニング七十一回、「あかまつ」百二十七点対「こぶし」百二十一点であかまつの勝利となり、ホームラン五十一本が飛び交う大会となりました。また、最多得点チームは「八日会」の二十八点で、一位から三位までのチームに賞品が送られました。

後半同点に追いつき、終盤に連打で逆転し見事勝利しました。県レベル、全国レベルの見応えのある試合でした。

アベニュー」の試合がありました。48オールスターズは豊丘が誇る強豪チーム、対するSアベニューも本年度の県一位のチームで、スピードと迫力のある試合を展開しました。序盤4点のリードを許した48オールスターズですが、後半同点に追いつき、終盤に連打で逆転し見事勝利しました。県レベル、全国レベルの見応えのある試合でした。



たが、多くの方の協力や地元林原木門地区の皆さんのご理解により、ケガも無く無事に終了できましたことに深く感謝し、来年もまた、楽しい二十四時間ソフトボール大会が実施できることを願うものです。



(松尾こずゑ)

「水を飲む」ことを習慣化する事の難しさに直面している時に、ある記事を読みました。それは、その記事の筆者が、あることを習慣化するのに三年かかった、というものでした。なるほど、と私は思いました。どんなことでも、なかなか身に付かないからやめてしまおう、と諦めるのではなく、断続的でも、何年かかってでも良いので、いつかは習慣化できるように努力し続けていこうと思います。

健康のためにやった方がよいことはたくさんあります。しかし、一つのことを始めるのも、それを続けていくことも、なかなか難しいことです。それでも最近より多く「水を飲む」ことを始めました。特に朝起きたとき、お風呂に入る前、そして、夜寝る前には必ず水を飲むようにしました。

「水を飲む」ことを習慣化させるために、いつでも気軽に水が飲めるよう、寝室入ってすぐの目立つところに水筒を置きました。また、その水筒も浄水フィルター付きのものにして、付加価値をつけました。それでも、簡単なようで、これが意外と難しいのです。なぜなら、のどが乾いていないときに「水を飲む」のは、忘れがちになるからです。

「水を飲む」ことを習慣化することの難しさに直面している時に、ある記事を読みました。それは、その記事の筆者が、あることを習慣化するのに三年かかった、というものでした。なるほど、と私は思いました。どんなことでも、なかなか身に付かないからやめてしまおう、と諦めるのではなく、断続的でも、何年かかってでも良いので、いつかは習慣化できるように努力し続けていこうと思います。

段丘

第4回 公民館学習会

時代を超える
椋鳩十作品

八月二十三日（日）に第四回公民館学習会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中ではありましたが、三十人ほどの参加をいただきました。今回は、喬木村にある椋鳩十記念館の館長・菅沼利光氏を講師にお迎えし、「椋鳩十の根っこを育てた故郷」と題した講演をいただきました。

菅先生は、生涯にわたって千以上の作品を残されており、その全体数は椋鳩十記念館の方でも把握しきれないという情報に、まず驚かされました。お話を一つ作りだす努力すらも大変なものであるのに、それを生み出しておられたこと、そしてそのアイデアを生み出す源泉が何であったのか、とても興味を惹かれました。

また、菅先生は児童文学、動物文学者としてよく知られていますが、その出発点は詩人であったことも初めて知りました。

菅先生の作品で、皆さんがよくご存知と思われるのが「大造じいさんとガン」ですが、これは発表されてから今年で八十一年になるそうです。しかし、今でも小学校の教科書に掲載されており、大人から今の子供たちまで、広く読まれている作品です。たしかに、今読んでみても、残雪と狼師のライバル関係はワクワク

『目標13 気候変動に具体的な対策を』
～SDGsって何⑬～
公民館長 市澤和宏

●目標13 気候変動及びその影響を軽減するための対策を講じる

気候変動は人間の活動に起因することは容易に理解していただけるのではないかと思います。天変地異は、天の神様や地の神様が怒っているのだと言われますが、実はわれわれ人間が怒らせてしまっているのではないのでしょうか？温暖化による気温の上昇、大雨、農作物の不作など、これらはわれわれに、そして地球にとって計り知れない影響をもたらすことがわかってきています。少しでもこの影響を減らすための目標が目標13です。さて、この目標のターゲットは全部で五つ。内、具体的な目標三。具体的な目標を達成するための方法二つです。

気候変動を引き起こす大きな要因としては地球が温暖化してきたことです。温室効果ガスが地球を覆い、その内部に熱を閉じ込めてしまうことが地球温暖化の仕組みです。いわゆる地球が温室効果ガスによりフタをされてしまい熱が外に逃げるのを妨げている状態です。これにより地球の平均気温がジワジワと上昇しているのです。このまま濃度が増せばますます熱が逃げ出せなくなり危機的な状態に地球はなってしまうことが予想されます。温室効果ガスは二酸化炭素（化石燃料由来）六十五％、二酸化

炭素（森林減少など）十％、メタンガス十五％、フロンガス二％などです。ただ二酸化炭素で七十五％と大半を占めていることに間違いは無いようです（気象庁）。（因みに牛のゲップはメタンガスだそうです。）

この二十五年間で温室効果ガスは五十％増加、百九十年間で海面が十九センチ上昇していることを存じでしょうか？産業革命前の平均気温から考えると一℃上昇しているとのこと（国連開発計画）。小麦の収穫量は一℃の上昇で五％減るといふ報告がなされています。「京都議定書」「パリ協定」など世界各国が参加し地球温暖化に歯止めをかけるようとしているわけです。日本では気象庁が二〇〇七年に三十五℃越えの「猛暑日」の定義がされ、豪雨時の予報から注意報もここ数年変化してきています。異常気象を実感する場面です。

温室効果ガスを減らすための努力は国単位、企業単位、個人単位で様々な角度から行わないと一長一短にはできないと考えます。「脱炭素社会」に向け三つのステップの提言がされています。

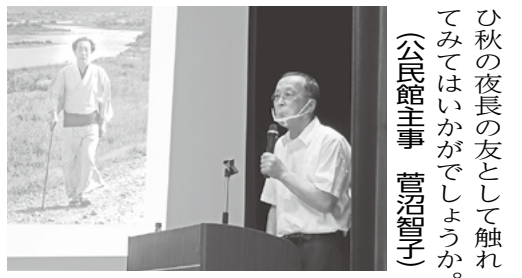
①使うエネルギーを減らす②自然エネルギーに替える③CO2をゼロに。

経済活動を行ないながらの脱炭素達成は非常にハードルが高いと考えられますが、わたしたちができることを行うことが大きな力になると確信しています。

この目標13に対して私たちにできることは何かを考えてみましょう。

①使わない電気製品はこまめにスイッチを切る（コンセントを抜く）
②なるべく自動車に乗らず自転車や歩く
③体に無理をせず冷暖房の工夫をする（緑のカーテン・二重サッシなど）
④肉食を少し減らす

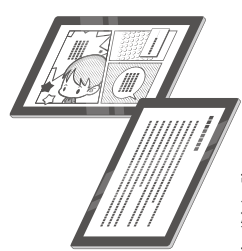
（参考文献「数字でわかる！こどもSDGs」株式会社カンゼン「国谷祐子と考えるSDGsがわかる本」ぶんけい）



市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」が、八月五日にスタートしました。この日は、午前十時から長野県内のほぼ全ての市町村がオンラインで参加し、オープニングセレモニーが開催されました。

豊丘村からは、図書館長でもある壬生教育長が参加し、この日サービス開始となった「デジとしよ信州」のサイトに初めてアクセス

市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」には、一万八千冊余の電子図書が用意されています。現在は夏山登山、キャンプシーズンということで、トップページにはそれらを集めた特集コーナーがあります。また、ビジネス書、子育て関係など実用的なものから、ドラマ化・アニメ化された人気漫画も用意されています。人気の書籍は早速



貸し出され、予約中となっている作品もありました。皆様も、ぜひ「デジとしよ信州」を使ってみてください。

（豊丘村教育委員会 菅沼智子）

シリーズ「元氣な高齢者」⑨
仕事に趣味に全力で取り組んだ充実人生

木下豊實さん
九十一歳
山田在住



昭和六年に現在地で、稲作、果樹及び養蚕を営む農家で五人きょうだいの総領（男一女四）として生まれた。木下家は室町時代を起源とし屋号を「山口」と称し江戸時代が最盛期であったとのこと、山田地区で最古と言われる家であった。

生まれた当時の山田地区は三十六戸の規模であったが内二十二戸には同世代の仲間がおり彼等との絆は強かった。三十一歳頃までタクシーが乗り入れることができない地域であったが、二十二歳の結末は固く、その後の土地構造改善に向けた強い結束力を発揮した。再三に亘る村への陳情が功を奏し、五十一年には畑・土地総が進み、全体として道路は基盤の目状に構築された。その活動は田村地区の中で一目おかれた。

父親は体が弱く、学校卒業後は直ぐに家事を手伝って欲しいと言われていたため高等科二年を卒業し青年学校一年間の学業を経て家事に入った。戦争の末期時であり学校では通常の授業はほとんど無く、勤労奉仕、防空壕造りが主といった状況であった。また祭りが近づくたびに担ぎ手要員として練習に駆り出されたのも思い出として懐かしい。ただ高等学院の時に教わったK先生にはその後の人生で大きな影響を受けた。

日常は農業に従事したが、農作業が出来なくなる冬季は土木作業で家計を助けた。農業では当時機械化が進み出した頃であり、特に脱穀

機は操作を修得するため村内外各地から人員が集まり、メーカーの工場（長浜まで講習に出かけたこともあった。その一方で青年団活動に心血を注ぎ、社会部長として活躍していた二十四歳の時には過労のため胃潰瘍で吐血するという苦しい経験を味わった。

青年団活動に夢中になっていた三十歳の時、知人の紹介により松川出身で六歳の保子さんと結婚した。保子さんは献身的に豊實さんの仕事を手伝った。

母親の実家で行っていた養豚業に以前から興味をもっていたこともあり三十九年から養豚を始め最初は二頭、八頭、十五頭と次第に増やしていった。始めは肉豚であったが、途中からは種豚へと変換していった。神保地区全体で五十人ほどの組合員であったが、若手登用としていきなり理事就任を要請され、引き受けざるを得なかった。以後五十年間の長きに亘っての務めとなった。その過程で長野県養豚協会の会長に推された。当時面識が出来た担当者とは現在も付き合いがあり貴重な人脈だ。養豚組合は五十四年に法人化され、発起人の二人が中心となり豚団地運営に当たり、最盛期には二百五十頭を飼育した。餌は自動給餌のため基本的に朝晩に様子を見に行くことで用は済んだ。しかし体力的に厳しくなってきたのを機に撤退することを決意し、手続きを始めたが書類作成が大変で結局十年間かかった。それでもまだ短い方だとのことであった。長い養豚生活で嬉しいことがある。平成六年に県畜産共進会の時、種豚部門で特別優秀賞に入り農林大臣賞を受賞し、明治神宮まで行ったことだ。長い間の苦勞が報われたと名誉に思っている。

父親が植えたりんごを引き継いで七十年になるが、ここ四十年ほどは知人友人を中心に、多くがリーダーとして贈答用に利用

貸し出され、予約中となっている作品もありました。皆様も、ぜひ「デジとしよ信州」を使ってみてください。

（豊丘村教育委員会 菅沼智子）

文責：桐崎一

こちら資料館 ②30

素人相撲宮の川銀次郎

『鷹見栄雄氏の研究物より』
下伊那相撲連の掲額に、
伴野宮の川銀次郎と載って
いますが、明治六年八月
一日生まれ、田舎相撲の
大関でなかなか気風のよい
角力を取り、甚句甚句と所
望され必ず唄ったといま
す。
相撲甚句…
唄うは宮の川銀次郎
『名花集めて甚句でとけば、
自慢で抱えた太鼓腹、

正月寿ぐ福寿草、
二月に咲くのが梅の花、
三月桜や、
四月藤、
五月あやめに杜若、
六月ひらひら舞う蝶々、
七月お盆で蓮の花、
八月野山に咲く萩や、
桔梗・かるかや・女郎花、
冬は水仙・玉椿
あまた名花のある中で、
自慢で抱えた太鼓腹、

【お詫び】
先月に続き、鷹見氏の研
究された「大乗坊物語②」
を掲載する予定でしたが、
今年の館報五月号「とよ
か一〇〇年前」のコーナ
ーで同じものが紹介されて
いるとのご指摘をいただきま
した。
確認しましたところ、全
くその通りでしたので、今
回は鷹見氏の別の研究を紹介
させていただきます。
(資料館主任 唐澤武彦)

高森が狼煙を上げる番なの
ですが、遠くの狼煙を確認
するのは思ったよりも大変
で最初に見えた人から「ほ
らあそこ！」という声が聞
こえると皆一斉にそちらの
方向を凝視しておりました。
一ヶ所の狼煙を確認できる
のは一分ぐらいと短いので
すがそれでも参加者たちの
「あー見えた」といった楽し
そうな声を聞くと今年も無
事に開催できたことに喜び
を感じました。(一面に写真
(公民館主事 小石峯剣)

馬に乗ったまま、あちらこ
ちらの谷間や岩の上を飛鳥
のように走り回ってしまし
たが、とうとう殺されてし
まいました。付き従ってい
た人たちはみな散り散りば
らばらになってしまいまし
た。
唐松峠に近いある民家。
真夜中で寝ていると、トン
トンと戸を叩く音がしまし
た。何ごとであろうと眠い
目をこすりながら見ると、
刀を杖にして血だらけに
なっている者が、なにし
ろ多勢に無勢のうえ不意に
囲まれてどうすることもで
きませんでした。その人の言
ひに、

村史の伝説の部に石仏の
お薬師様という話がある
が、これは遠山土佐守の御
典医のことであるし、堀越
の矢落地籍にある墓は遠山
土佐守の家の墓であるとい
います。また、滝川にも
土佐守の家の墓が落ちつい
て、そのとき持っていた刀
が今にあるといわれています。
これらはみな唐松峠が古い道
で大鹿方面とのつながりが
あったから、このような民
話がところどころに残って
いるのだと思われまふ。
(豊丘村民話集・第三集
〔昭和五十三年〕より)
文責…壬生雅穂

柳

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「本」久保ひろし 選

宗教の本質忘れ人騙す 山本 義彦

二番目の位置でいつでも抜く本気 小澤 凜

軸吟…本音には人に言えない事情あり 福澤 亀人

▼課題「列」互選

一時間一度の列車飯田線 林 もも子

検査待ち不安かえて並ぶ列 市沢 照子

コロナ禍で式に参列せず帰る 久保ひろし

▼自由吟 山本義彦 選

めぐり来る被爆の痛手晴れぬまま 西元 峯子

青春を一球一打すべてかけ 福沢 勝美

政と教をあらわした銃撃者 原 美風

軸吟…存在の意義が有るのか国連は



『香道』 吉木 幸子



『水中遺跡』 松尾 理子

『沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う』
山松晃太郎(著)
新潮社
海や川に沈没した船や遺跡を発掘し、研究する水中考古学の魅力が熱く語られています。視界が悪い、強い潮の流れ、限られた潜水時間といった悪状況で、地道に進められる作業、そして素晴らしい発見が冒険小説のように綴られています。
『よくわかる香道』
三条西 堯水(監修)
メイツユニバーサルコン
テンツ
香りを楽しむ文化は『源氏物語』にも描かれているように、古くから日本で親しまれています。本書では、室町時代に成立した香道の歴史、道具、所作や作法を写真と共に丁寧に解説しています。香りを聞いてその違いを中てる組香の楽しみ方も紹介しています。

また、『図説世界の水中遺跡』(木村淳・小野林太郎(編著) グラフィック社)では、水中遺跡をカラー写真で紹介しています。

遠山土佐守の伝説
武田治郎
『豊丘村民話集』より
とよおか100年前

豊丘村民話集より
とよおか100年前

豊丘村民話集より
とよおか100年前

豊丘村民話集より
とよおか100年前

豊丘村民話集より
とよおか100年前

豊丘村民話集より
とよおか100年前

図書館だより

9月号

〆移動図書のご案内〆

十月の移動図書

四日(火) 伴野勤労者福祉センター

六日(木) 小園研修センター

七日(金) 壬生沢福島集落拠点施設

時間 午後八時〜九時

〆本の紹介〆

『よくわかる香道』

三条西 堯水(監修)

メイツユニバーサルコン

テンツ

香りを楽しむ文化は『源氏物語』にも描かれているように、古くから日本で親しまれています。本書では、室町時代に成立した香道の歴史、道具、所作や作法を写真と共に丁寧に解説しています。香りを聞いてその違いを中てる組香の楽しみ方も紹介しています。

第15回

武田信玄狼煙リレー

8月27日

八月二十七日(土)に第十五回を迎える武田信玄狼煙リレーが村民グラウンドで行われました。林原木門地区の役員の方々が朝から狼煙に使う杉枝を準備してくださり、九時頃にそれらを積み上げて狼煙の完成。十分後に飯田方面の狼煙を確認して豊丘の狼煙に点火。狼煙が上がる頃までには一般参加者を含め三十人近くの人々が集まり他の市町村が上げる狼煙を確認しようと高い所に登って目を凝らしておりました。豊丘の次は

高森が狼煙を上げる番なのですが、遠くの狼煙を確認するのは思ったよりも大変で最初に見えた人から「ほらあそこ！」という声が聞こえると皆一斉にそちらの方向を凝視しておりました。一ヶ所の狼煙を確認できるのは一分ぐらいと短いのですがそれでも参加者たちの「あー見えた」といった楽しそうな声を聞くと今年も無事に開催できたことに喜びを感じました。(一面に写真(公民館主事 小石峯剣)

馬に乗ったまま、あちらこちら谷間や岩の上を飛鳥のように走り回ってしましたが、とうとう殺されてしましました。付き従っていた人たちはみな散り散りばらばらになってしましました。
唐松峠に近いある民家。真夜中で寝ていると、トントンと戸を叩く音がしました。何ごとであろうと眠い目をこすりながら見ると、刀を杖にして血だらけになつて突つ立っている者が、なにしろう多勢に無勢のうえ不意に囲まれてどうすることもできませんでした。その人の言ひに、

村史の伝説の部に石仏のお薬師様という話があるが、これは遠山土佐守の御典医のことであるし、堀越の矢落地籍にある墓は遠山土佐守の家の墓であるといひます。また、滝川にも土佐守の家の墓が落ちついて、そのとき持っていた刀が今にあるといひます。これらはみな唐松峠が古い道で大鹿方面とのつながりがあったから、このような民話があるのだと思われまふ。
(豊丘村民話集・第三集〔昭和五十三年〕より)
文責…壬生雅穂

俳句 短歌

水を打つ小さき七色ゆふまぐれ 池田 美和

街路樹の陰渡りゆく日の盛 細井 恵子

出征の兄の描きし藍浴衣 吉川 明子

働きしあの頃ののぶ走馬灯 河手 洋子

百の魂天竜ともせり流灯会 北原 昭子

〆とよおか短歌会〆

半生を付き合ひし人の計報うけ逢えばこみあぐ永久の別れに 壬生 千春

参院選国の行く末託す時この一票に平和を願う 筒井 恵子

友からの「ちりめん山椒」自家製なり実の沢山入る贅沢な味 大原真由美

登校の子どもら店の時計見て安堵して行く今日の始まり 松尾ヒサコ

しばらくはリモートワークと息子の便り日々の献立いそいそ思案 福澤貴美恵

風越山に雨足せまる村の辻赤の点滅パトカー右折 福澤 郁文

旧姓で名乗り合う旧友だんだんと昔の面差し蘇りくる 毛涯百合子

名にし負わばいざもの申す「鬼面山」時の疫を疾く追ひ払い給え 福澤 亀人

